

環境政策課廃棄物対策係（☎内線1881）

生ごみ・剪定枝や草の ごみ減量について

生ごみは多くの

水分を含んでいます

生ごみの水分量は70〜80%といわれており、重量があります。また腐敗すると悪臭を発します。

生ごみの水切りをすると悪臭を防止できるほか、ごみの容量が減り、ごみ袋（市指定袋）の枚数を減らしたり、サイズを小さくすることができます。

【生ごみの減量方法】

生ごみを出さない工夫をしましょう

○買物に行く前に冷蔵庫の中身を確認する

○食べる量を考えて献立を決める

○冷蔵庫の中にあるものだけで料理する日を作る

ぬらさないようにしましょう

○基本は「最初からぬらさない」ことです。野菜などは使えない部分をはじめに分けてから洗いまししょう

悪臭・腐敗防止のため

水切りしましょう

○ゴム手袋を使用して直接水切りする

○すぐに捨てずに、三角コーナーなどに入れて一晩おいてから捨てる

○市販の水切りグッズなどを活用する

【生ごみの水切り器を

無料でお渡しします】

安中市環境保健自治団体連合会では、生ごみの水切り器を市在住の世帯を対象に無料で配付しています。希望する人は環自連事務局（☎環境政策課または☎総務管理課）までお越しください。なお、数に限りがありますので、終了の際はご了承ください。

**剪定枝や草も
多くの水分を含んでいます**

「剪定枝」や「草」を乾燥させると、15〜60%減量するといわれています。

水分を多く含んでいると、焼却時に多くのエネルギーが必要になり、処理経費が多くなってしまう。

【剪定枝や草の減量方法】

○剪定枝や草は、すぐごみに出さずに土を落として乾燥させる

○天日干しできない場合でも、袋を縛らずに開けておくだけで減量が可能

【剪定枝を



【ごみステーションに出す場合】

長さ50cm以下、太さ5cm以下のものはごみ袋（市指定袋）に入れてください。困難な場合は袋に入る程度の量で



袋を開けて乾燥させている様子



市指定袋の貼り付け方

縛り、ごみ袋（市指定袋）を貼り付ければごみステーションへ出すことができます（一度に大袋5袋まで）。

長さ50cm、太さ5cmを超えるものは粗大ごみ扱いになりますので、碓氷川クリーンセンターへ直接持ち込んでください。

※処理料金：総重量から50kgを差し引いた重量10kgにつき165円（税込）（50kgまで無料）